PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 03-235507 (43)Date of publication of application: 21.10.1991

(61)Int.CL

H03F 1/30 G01J 1/44 G03B 7/28 H03F 1/34

(21)Application number : 02-031841

13,02,1990

(71)Applicant : (72)Inventor : ASAHI OPTICAL COLLTD

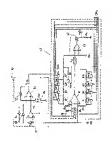
SATO OSAMU

(22)Date of filing: (54) AMPLIFIER DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a gain in matching with an A/D convertor by connecting a resistor having an opposite temperature obsractoristic to a temperature characteristic of an input voltage to the output of the operational amplifier resolving the voltage having the orascribed temperature characteristic and connecting a gain setting means whose resistance is variable to the input of the operational amplifier.

CONSTITUTION: A resistor RO having a positive temperature characteristic is connected to an output terminal of an operational amplifier 41 and the resistor RG is connected to an inverting input terminal of an operational amplifier 42 and the temperature is corrected by using the resistor RS with respect to an output voltage from the operational amplifier 41 and the temperature conflicient of the output voltage is made zero. A reference voltage YREF is field to the noninverting input terminal of the operational amplifier 42, the operational amplifier 42 and APD converter (first shown in figure) via a transistor(TR) 43 and a resistor R4 is connects to an APD converter (first shown in figure) via a transistor(TR) 43 and a resistor R4 is connected between the TR 43 and the APD converter. The output voltage of the operational amplifier 42, the transistor R5, R4 and amplified by a prescribed gain. Thus, the gain in matching with the A/D converter is Obtained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration?

Date of final disposal for application

(Date of that hisposal to:

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Japanese Publication for Unexamined Patent Application No. 235507/1991 (Tokukaihei 3-235507)

The following is a partial English translation of exemplary portions of non-English language information that may be relevant to the issue of patentability of the claims of the present application.

The amplification device according to the present invention is characterized in that, to an output side of an operation amplifier receiving a voltage having a predetermined temperature property, a resistor having a temperature property opposite to the foregoing temperature property is connected,

A resistor (R₃) having a positive temperature property is connected to the output terminal of the operation amplifier 41, and the resistor (R₃) is connected to a negative phase input terminal of the operation amplifier 42. The resistor (R₃) carries out temperature correction with respect to an output voltage of the operation amplifier 41, so that a temperature coefficient of the output voltage becomes 0.

According to the foregoing arrangement, the amplification circuit 40 can carry out amplification and temperature correction with respect to an output voltage of the photometric circuit 30. ...

...

...

Fig. 6 illustrates an equivalent circuit in case where the amplification circuit 40 serves as an amplifier. In Fig. 6, the resistance (R₃) is a total of (i) a resistance obtained by combining the resistances (R, 2R, 4R, and 8R) determined by turning ON/OFF the analog switches SW1 to SW8 and (ii) the resistance (R₀). First, an output voltage R_{Y1} of the operation amplifier 41 is calculated.

$$\begin{split} &V_{s1} + \{R_{v1} - V_{s1}\} \; R_1/(R_1 + R_2) \\ &= V_{LOG} + \{V_{REF} - V_{LOG}\} \; R_1/(R_1 + R_2). \; \text{As a result,} \\ &R_1 + = V_{REF} + \{R_2/R_1\} \{V_{LOG} - V_{S1}\}. \end{split}$$

This is substituted by the expression (2) as follows.

$$R\gamma 1 = Vref + \frac{R2}{R1} \frac{KT}{q} \ln \frac{Icc}{Ip}$$
 (3)

Thus, an output voltage $R_{\rm out}$ of the amplification circuit 40 is as follows.

$$R_{\text{out}} = \{ (R_{Y1} - R_{Y2}) / R_3 \} \times R_4$$

$$= \frac{R4}{R3} \frac{R2}{R1} \frac{KT}{g} \ln \frac{lcc}{lp}$$
 (4)

Herein, R_1 and R_2 are diffusive resistances and are identical to each other in a temperature coefficient, and I_p and I_{cc} are identical to each other in a temperature coefficient. Further, the resistance (R_3) has a positive temperature coefficient, and the resistance (R_4) has a temperature coefficient of 0. Thus, a temperature coefficient of the output voltage R_{out} is as follows.

$$\frac{\Delta Rout}{\Delta T} = \frac{R4K}{q} \frac{\Delta T \Delta R2}{\Delta R3 \Delta R1} 1n \frac{\Delta Icc}{\Delta Ip}$$

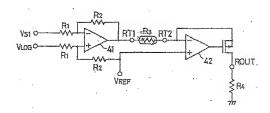
 R_1 and R_2 are identical to each other in a temperature coefficient, and I_p and I_{cc} are identical to each other in a temperature coefficient, so that $(\Delta R_2/\Delta R_1)$ and $(\Delta I_{cc}/\Delta I_p)$ are respectively constant numbers. Thus, the temperature coefficient of the output voltage R_{out} is expressed as follows by

using a constant number C.

$$\frac{\Delta Rout}{\Delta T} = C \times \frac{\Delta T}{\Delta R3}$$

Thus, if R_3 and T are equal to each other in a temperature coefficient, that is, if a temperature coefficient of the resistance (R_3) is +3333 ppa/°C (corresponding to 301/300), ($\Delta T/\Delta R_2$) is constant, so that the temperature coefficient of the output voltage R_{out} is 0. That is, a resistor having such a temperature property is selected as the resistance (R_3) is selected, so that an output value of the amplification circuit 40 is not influenced by temperature.

FIG. 6



◎ 公開特許公報(A) 平3-235507

@Int.Cl.		識別記	S.	庁内整理番号		@49	平成3年	(199	到)10月21日
H 03 F G 01 J G 03 B H 03 F	1/30 1/44 7/28 1/34		A D	8836-5 J 7706-2G 7811-2H 8836-5 J			1		
				. 3	查請求	未請求	請求項の数	3	(全7頁)
69発明の名称	增幅装	T.							***************************************
		②特	貕	平2-31841					
		(2) He	255	平 2 (1990) 2 月15	3 FS:				

東京都版稿区前野町27日36番9号

東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社

旭光学工業株式会社 弁理士 松 澈

1. 発明の名称

2. 特許請求の能器

们所定の温度特性を有する電圧が入力されるまべ アンプの出力器に、路道度特性とは逆の議業特性 を有する抵抗が接続され、かつ上記オペアンプの 入方側に、抵抗値が可能であるゲイン設定手段が 接続されることを特徴とする増幅装置。

(2)出力電圧が所定の器度特性を育する電圧発生図 路と、所定の基準電圧を出力する基準電圧発生率 と、上記出力電圧と毎端電圧の差分を増額するオ ペアンプと、このオペアンプの出力器に接続され、 上配出力電圧とは逆の温度特性を有する微抗と、 ※オペアンプの入力器に接続され、器流鑑が可要 であるゲイン設定手段とを鍛えたことを特徴とす る環糖等質。

(3)出力電圧が所定の温度特性を有する電圧発生調 路と、所定の器跡電圧を出力する器準電圧発生器 と、上記出力電圧と搭導電圧の兼分を機構するオ

ベアンプと、このオペアンプの出力報に接続され、 上記出力電圧とは逆の程度特性を有する抵抗と、 雄オペアンプの入力器に接続され、蒸抗値が可渡 であるゲイン設定手段と、上記オペアンアの正領 入力線子と連絡入力線子と電圧発生活路と基準電 圧発生器とを模互に製造させて、上記オペアンプ の入力側に所定の大きさの抵抗を付与する手段と を鍛えたことを整備とする場態装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、例えば一般レフカメラの分割避光セ ンサ等からの出力電圧を環報する装置に関する。 (健康の技術)

菱年、一躍シフカメラ等の受洗センサとして分 額避免センサを使用したものが多数異愛けられる ようになった。この分割拠光センサを用いる窓出 として、ファインダー顕微内を微鏡に分部して終 立に綴光することにより、各ゾーンでの明るさを 護克することができ、きめ継かな総出網額が行な えるというメリットがある。このため感近の分類

計版手 3-235507 (2)

個先セッサの分割数は増加する接向にある。しかしながら対象数が増えると、センサに対象するアンプの数、のかいては接続する医験タイン数を増加し、ノイズが発生しやすくなること等の関題が発生する。そこで分割例光センや内容にアンず到面、フトロール回路等を無限したいわゆる分割例えばでにが提定されている。このような分割例光にによれば、出力は電圧の形で取り出され、反死物ペッコンピュータに入力され、人口変換されたでいた。

さて分割割売1 Cの出力電圧は、受売票子に接 核される対数圧線用のダイメートの運体性の影 密を受ける。そこで従来、反転増機局に接続され る低抗として、入力器に正義政係政低抗(ポジス タ)、帰避無に例えば金額皮膜低抗が受けられ、 これにより反転地機器の出力の線度係数が0 に定 められている。

【発明が解決しようとする課題】 上述のように受光案子を 1 C内に組み込んだ機 低において、仮転増機器のゲインは、金額皮齢数 抗とボジスタの抵抗値の比によって定まり、この ゲインを調整する場合、ボジスタが実施であるため、金銭成職抵抗の抵抗流を変化させざるを放け い。ところが、このように金銭成職を抗の抵抗値 でではまっためには、多数の抵抗を設ける10の外 がある。すなち5反転機器器を構成する10の外 係に多数の要素を接続しなければならず、襲撃を 体の構成が複数になるという同様があった。

本発明は、以上の問題に鑑み、温度楊復を維持 しつつ、A/D廣機器に合致したゲインを得るこ とのできる、簡単な構成を有する増編装置を提集 することを目的とする。

(商騒を解決するための手段)

本発明に係る増報装置は、所定の過度特性を有する電圧が人力されるオペアンプの出力機に、この温度機性とは遅の温度特性を有する症状が接続され、かつ上記オペアンプの入力機に、無抗震がされ、かつ上記オペアンプの入力機に、無抗震があれ、ことを特徴としている。

(突旋探)

以下因示実施製により本発明を説明する。

郷2間は光年末の構成例を示し、随動レンズ1 1の微力にはまラー12が配設され、このミラー 12の上方には、ピント級13とペンタブリズム 14が設けられる。撮影レンズ11を書通りた先 試きつー12とペンタブリズム14によって反 計され、限プセンサ15の前には、ピント級13上 の像を側光センサ15の前には、ピント級13上 の像を側光センサ15の前には、ピント級13上 の像を側光センサ15の前には、ピント級13上 のルンズ17が設けられる。

 る。すなわち、本室蠡嶺において発光器子は2つ に分割されており、顔光センサ15は、いわゆる 2分類器先10である。

第1間は、磁光センサ15内に設けられる磁光 顕路3日と、増額豊穣40の終収を示す。増額盟 器40は樹光線器48と同じ線度環境に設けられ、 この福光回路38の出力電圧でしゅ。を、過度循環 しつつ増報し図示しないA/D変換器へ出力する。 溺光経路3日において、オペアンブ31の各人 力磁子には受兇器子32が接続され、またこのす ペアンプ31の入力および出力端子にはダイオー F33、34が撥破される。すなわち、これらの オペアンプ31とダイオード33、34は対数圧 福田路を総成し、長天常子32の後出館号は対数 圧闘された徹底で。として出力される。なお、ダ イオード34は出力電狂♥。のクランプ用ダイオ 一ドである。一方オペアンプ35の各入力端子に は、オペアンプ31の出力幾子と、定常機認35 とがそれぞれ微騰され、またオペアンブ35の入 力および由力端子にはダイオード37が振続され

る。すなわちこのオペアンプ35とダイオード3 7により、レベルシフト器器が縁成される。

本実施製において、観光センサ15 むは上遠した ように 2 分割調生センサであり、オペアンプ3 1 とゲイオード 3 3、3 4 からなる対象圧縮関格 を受光雲子 3 2 年に、すなわち 2 個数けられる。 これらの 2 棚の対象圧端回路は、関示しない C P リからのコントロール個号により削割されて選択 され、ひとつの対象圧線預器出力が整幅顕路 4 8 に接続される。 たお、第 1 図において対象圧縮回 線はひとつだけ来されている。

さて、オペアンプ31の正得入力幾子に保結される基準電圧をV:、ダイオード33に作用する電圧をV:たすると、オペアンプ31の出力電圧 V。は、

$$V_0 = V_{41} - V_{33}$$

$$= V_{41} - \frac{KT}{q} i_8 \frac{I_2}{i_8} - V (i_9) \quad (1)$$

である。ここで、ドはボルツマン定数、下は絶対 器度、gは定数、I・はダイオード33における

Los を増幅するため、この出力電圧 V.o. は準帳 磁器 6 0 に入力される。

増幅開路40においてオペアンプイ1には、後 速するように、正態度特性新化と、アナログスイ ッチの開閉によって抵抗値を使化させることので きるゲイン陸定両路とが傍鏡され、このゲイン設 短囲路は強数の衝災を有する。なお、以下の裁判 において「振筋」の勝句の後の話場内に示される 起外は、その形筋の値を示す。

 電減板、i。はダイオード33に流れる一定電流 低、V(i。)はダイオードに電流i。が流れた 中の電圧値である。また、細光図路30から出力 される電圧Vcooは、ダイオード37に作用する 電圧をYstとすると、

V:00 = V:0 + V:7
- V:0 + KT la lec + V (10) + V:7
であり、これに田太美代入すると、

すなわち開先国務30の出力電圧V、。。は、景 5図に示すようにV。を高率として正の値をとり、 受光素子32が検出する光澄が多くなる(I。 大)はどV。に近づく。なお第5週において、豪 準電圧V。は2Vに定められている。

また図式から理解されるように、網先限数30 からの出力電圧Vive は、温度変化の影響を受ける。この温度による影響を除去するとともに、A / D参議器に会致したゲインによって出力電圧V

オペアンブ41の出力端子には、正温度特性を 有する無飲(R,)が接続され、この超飲(R,)はオペアンブ42の逆程人力端子に接続される。 この極茂(R,)により、オペアンブ41からの 力力電圧に対して温度補正が描され、この出力電 圧の温度緩張が0となる。

オペアンプ42の正短入力線子には、蒸煙電圧 Varr が供給される。このオペアンプ42はトラ ンジスタ43を介して関示しないA/D変態器に

特別 ∓ 3-235507(A)

接続され、またトランジスタ43と人/D表情器 との間には低低(R。)が接続される。このまへ アンブ42とトランジスタ43と低低(R。、R 。)からなる回路により、オペアンブ41の出力 低圧はレベルシフトされるとともに、所定のデインで報信される。

以上の構成により増幅図路40は、源光照路3 0の出力電圧を増幅するとともに離実輸正を施す ことができる。またこの環個原路40は、このような増極および進度機関機能の他、基度測定器と しての顕像も有しており、次に、そのための構成

すなわち、ホイアンブ41の多人力端子に接続された歴版(R,1/2)と粧版(R,1/2)と概成(R,1/2)との間はアオーログスイッチSW9を介して接続され、またポーペアンブ4(1の正視人力端子と電板(3R,2)を介して接接される。これらのフナログスイッチ5%のまかよびSW10は、機機調整40が満定ある電機をして作用する場合には非常温の状態にある

が、物類回路40が混度測定器として作用する場合には影響状態に定められる。このフナログスイッチSW9、SW10のGN-OFF朝鮮はCP UCより行われる。

次に、機機開路48が増級器として作用する場合の動作について展明する。

この場合、アナログスイッチS W 9、S W 1 D はそれぞれ間接されており、またアナログスイッチS W 1 L S W 8 たりもの方ちの所定のものが耐波される。 なお、アナログスイッチS W 1 L S W 8 L S W 8 L S W 8 L S W 7、S W 4 L S W 8 L S W 8 L S W 7、S W 4 L S W 8 L S

ブ41の出力電圧 Resを求める。

Vo.+ (Re.-Vs.) Rs/(R, +R*)

WV.co + (Vser-Vc.) Rs/(Rs+Rs)

R_{*}(=V_{SY*} + (R_{*}/R_{*})(V₂₀₀ - V_{*};) となる。これに、上配砂式を代入すると、

$$R_{T} = V_{XXY} + \frac{R_{X}}{R_{1}} \frac{KT}{q} l_{X} \frac{l_{CC}}{l_{P}}$$

したがって、増級網路 4 0 の出力電圧 Roor は、 Roor ** { (fts, - Rst) / Rs) × Rs

$$= \frac{R_s}{R_s} \frac{R_s}{R_t} \frac{KT}{q} \frac{i_{sc}}{I_r} \qquad (0)$$

ここでR:、R: はIC内の鉱脈脈抗であり、 同一の離皮跡施を有し、I,、Icは同一の程度 保敷を有する。また販流(R: 以 はご誰咳燥か すし、観流(R。)の温度振動は0である。した がって3出対電圧Rostの程度失敗は、

となる。R:、R:が相互に同一の級皮体数を有 し、またI:、I:eが相互に同一の弱皮体数を有 することから、(AR:/AR:)および(A!:ec/ Al:) はそれぞれ変数である。したがって、出力 徴任Restの激散発数は、定数でを用いて皆くと

$$\frac{\Delta R_{SST}}{\Delta T} = C \times \frac{\Delta T}{\Delta R_S}$$

したがって、R。と下の直皮係数が等しいと、 すなわち、低低(R。)の直皮保数がよ333 pea/で(301/309に相当する)であると、 (ムT/AR。) は一定となり、出力度圧Resrの 回直保険は0となる。すなわち、単低(R。)と してこのよう電声(特性を表するものを選定する ことにより、加種譲襲40の出力値は、温度の影響を挙げなくなる。

次に、爆機器路40のゲインについて破明する。 ここで、8ビットのA/D表機器を設定し、そ の分路線が、

4600mY/255 - 15,686mY/step

とすると、ゲインGとして、

G = 15.886s8/(17.79/8)s8 = 7.053 が必要である。ただし、17.79ef は概るさが1日 v変化した時のV,os の出力電圧変化量であり、 すなわち(17.79/8)a8 は 1/8E v 値に対応する。 本実施例では、約数のオペアンブ41において約 2. 35年のデインを、また移形のオペアシブル 2において約3倍のゲインを待たせている。ただ し、抵抗策の感激、A/D療物における高溶質等 のバラツキに蒸づく分解盤のバラツキを表謝し、 前鐘のオペアンプも1のゲインは、アナログスイ ッチSWI~SW8のON-OFF 影響によって プログラマブルに姿勢できるように機成されてい る。すなわち、このオペアンプも1におけるゲイ ンPGは、

P G = (225+2 × Sain Code)/100 (49) であり、Sain Code はCPUから入力され、8~ 15の棺をとる。したがって、ディン郷としては PG~2.25~2.55 (倍)

の間で、0.62份(2/160) ずつの間隔で表化させる

R,、R.、R.はIC的の抵抗であり、また V.io. V.は蒸燃業所であることから、それぞ れ瀬彦孫塾はりであり、したがってRっは滋座祭 数を終えない。

端端鏡端 4 0 の出力電圧 2... は、

ここでR、は正滅废特性を育するので、Ross は我の嚴度係数を有することとなる。したがって、 増額開露40は、当度に応じた電圧Rep を出力 することとなり、この経路40は温度器度器とし て用いられる。

ここで例えばR: -100 k A: R: -235 k A. R = -5.1 kΩ, R = -15 kΩ, R = -100 kΩ とすると、例式および例式より、

Rany = 2.318 (V)

となり、 Rose の数常盛的は、

ことができる。

上返したように、増額路路48は蒸皮機定器と しても利用できる。第1頭は、アナログスイッチ SWS、SWISを開成した場合における増幅器 勝くり、すなわち幾度額定器器の等価器器を示す。 この場合抵抗(Ra)の大きさは、アナログスイッ キSWI~SWRのON-OFF頻報によって家 まる抵抗(R、2R、4R、8R)の合成抵抗値 と蒸焼(Re)との合計値であり、

R = - R + { (8,28,48,88) の合成抵抗値} 243.

まず、Rriの値を求める。

Vsi+ (Rrs-Vai) Rs/ (Ri + Rs) - V + + (V + * + - V + +) (R +/2)/(R +/2 + R +//4) したがって、

$$= V_{z+} + \frac{R_1 + R_2}{R_1 + 2 R_{z//2}} (V_{z+} - V_{z+})$$
 (5)

R = //2 ** R = * R a/(R = + R =)

$$\frac{\Delta R_{eer}}{\Delta T} = \frac{R_e}{\Delta R_e/\Delta T} \times (R_{\tau_1} - R_{\tau 1})$$
= -7.725 (eV)

となる。したがって、SビットのA/D変換器の 場合、分解能が1 L S B ~ 15.686m¥であることか A、 本家施耐における経度器定器によると、2 T の温度変化により、1LSBだけA/D変数値が 療をすることとなる。

以上提明したように、本実施例の物総維路40 は、器器の機器器として用いられるばかりでなく。 異な様定器としても利用できるが、オペアンプも 1のゲインの設定は、機器器として使用する時、 および温度測定器として使用する時において、極 夏に暴なり、したがって予め調整しておく必要が ある。このため、この模塑のためのデータをCP UのRAMに格納しておかなければならない。こ のため一つの手段としてはマイコンの外付けとし TE* PROMを付加し、総接機能において予め 顕盤アータをE* PROMに容を込んでおき、突 動作時にETPROMより所定のデータを設み込

特開平3-235507(6)

んできてRAMに格納するという方法等が考えられる。

以上述べたように、本実施例の物価機器は、外 付付が起走しては、基本的には低質(Rs)と振気 (Rs)のみであり、その他の容晶は16に内臓さ ねる。したかって、従来のように多数の外付けが 途を用時に延停することができ、基定全体を簡単 化し、かつ変数にすることが可能となる。

(発明の効果)

以上のように本発明の準機接置は、温度緩慢を 維持しつつ、A/D変換器に合致したゲインを得 ることができ、しかも外付け部品が少ないので構 成が非常に簡単である、という効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の一変結例に係る増額装置を示す機器図。

第2回はカメラの光学系の構成例を示す題、

第3回はファインダにおける選先範囲を示す図、 第4回は発光業子を示す図、 第5 謎はE v 線に対する器先センサの出力電圧 の変化を示すグラフ、・

第6日は増報器を示す日益団、

第7回は温度測定器を示す問路器である。

3 8 ・・・ 遊光網路

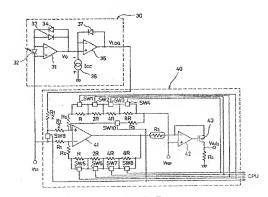
40・・・増額路路

Rs···正温度物性抵抗

人羅出希帶

短发学工服株式会社 等許出腦代理人

弁理士 松浦 孝



幣 1 28

